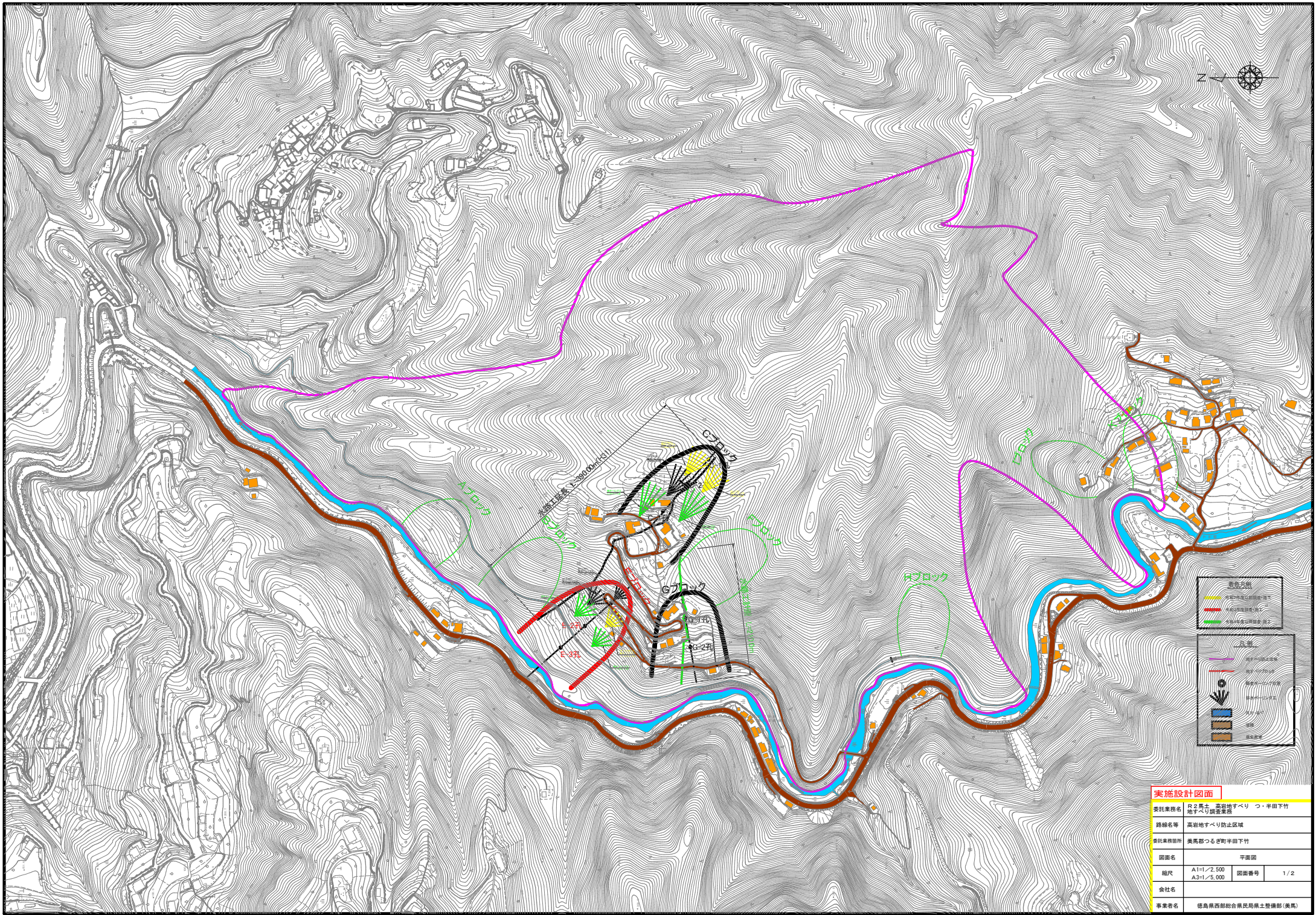


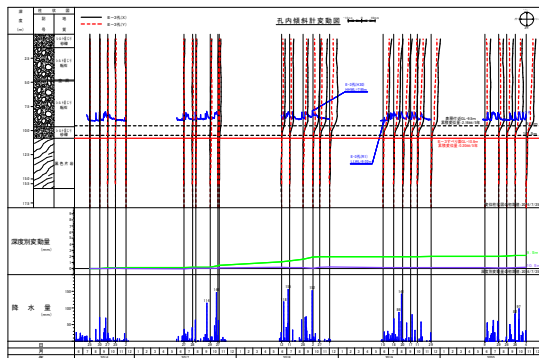
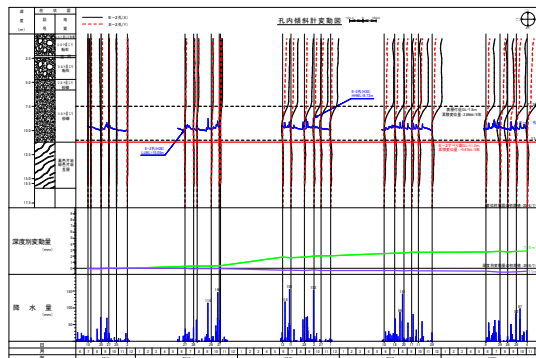
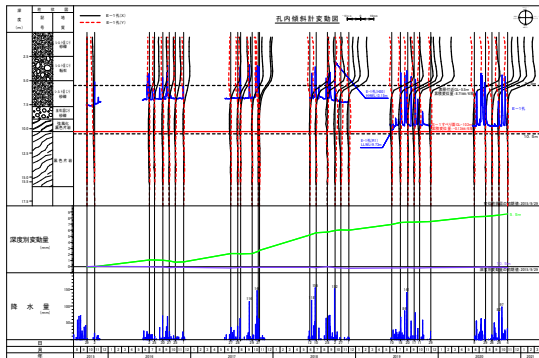


- 等高線
- 等高線(等高線の間隔)
 - 等高線(等高線の間隔)
 - 等高線(等高線の間隔)

- 区画
- 区画(区画の境界)
 - 区画(区画の境界)
 - 区画(区画の境界)
 - 区画(区画の境界)
 - 区画(区画の境界)
 - 区画(区画の境界)

実施設計図面

委託業務名	H25年度、高岩地すべり、つ・半田下竹		
路線名等	高岩地すべり防止区域		
委託業務箇所	奥馬郡つるぎ町半田下竹		
図面名	平面図		
縮尺	A1=1/2,500	図面番号	1/2
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部(奥馬)		



横断図 (Eブロック)

A-1 SC=1:250
A-3 SC=1:500

孔内傾斜計観測
自記水位計観測
E-1孔 (H27)
L=16.00m
GH=179.13m

EH-1(H31年)
横ボーリング工
L=25.0m×6本×1箇所

強風化軟岩層
Bscl

自記水位計観測(専用孔L=10.50m)
孔内傾斜計観測
E-2孔 (H28)
L=16.00m
GH=148.74m

崩積土層
Dt

EH-2(H31年)
横ボーリング工
L=30.0m×6本×1箇所

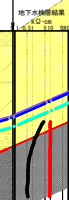
EH-3(R2施工中)
横ボーリング工
L=30.0m×6本×1箇所

横ボーリング工
L=30.0m×6本×1箇所

風化軟岩層
(安定岩盤層)
Bscl

横ボーリング工
L=35.0m×6本×1箇所

孔内傾斜計観測
自記水位計観測
E-3孔 (H28)
L=16.00m
GH=121.65m



安全率水位表

すべり面	目標安全率	H27	H28	H29	H30	R1	R2
Eすべり面	1.15	—	1.01	1.00	1.00	1.02	1.02

孔内水位表

孔No.	H27		H28		H29		H30		R1		R2	
	HWL	LWL	HWL	LWL	HWL	LWL	HWL	LWL	HWL	LWL	HWL	LWL
E-1孔	5.14	7.61	3.42	7.02	3.35	6.87	3.15	7.26	3.97	9.73	4.26	9.70
E-2' 孔	—	—	9.19	10.05	8.76	10.04	8.72	9.92	9.03	9.95	8.91	9.93
E-3' 孔	—	—	8.03	9.00	8.00	8.95	7.95	8.86	8.08	9.02	8.10	8.95

※H27はE-1孔のみ調査ボーリング及び観測を実施。

安定解析結果一覧表

種別	解析内容
ブロック名	Eブロック
すべり形態	風化岩すべり
初期安全率	Fs0=1.00
計画安全率	PFs=1.15 国土交通省河川砂防技術基準の保安対象より
水位条件	水位観測による最高水位(H30HWL)
解析手法	分割法(フェレニウス法)
すべり面強度	粘着力C 11.0(kN/m ²)
	内部摩擦角φ 29.7591°
対策工	算定方法 地すべり土塊の層厚から粘着力Cを想定し 逆算法により内部摩擦角φを算出した。
	抑制工法 横ボーリング工
対策工	地下水低下量 HWL-3.00m
	施工後の安全率 Fs=1.07

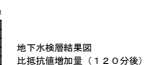
凡例

地質区分

崩積土層 Dt	三波川 結晶片岩
強風化軟岩層	
風化軟岩層 (安定基岩層)	

地下水位

令和2年度最高水位 (R2HWL)
令和2年度最低水位 (R2LWL)
令和1年度最高水位 (R1HWL)
令和1年度最低水位 (R1LWL)
平成30年度最高水位 (H30HWL)・・・HHWL
抑制工導入後推定水位 (PWL)



※Bscl・・・黒色片岩

実施設計図面

委託業務名	岩盤劣化・崩壊地すべり調査	つ・半田下竹
路線名等	高岩地すべり防止区域	
委託業務箇所	奥馬都つるぎ町半田下竹	
図面名	解析断面図 (Eブロック)	
縮尺	A1=1/250 A3=1/500	図面番号 2/2
会社名		
事業者名	徳島県西部総合振興局県土整備部(奥馬)	